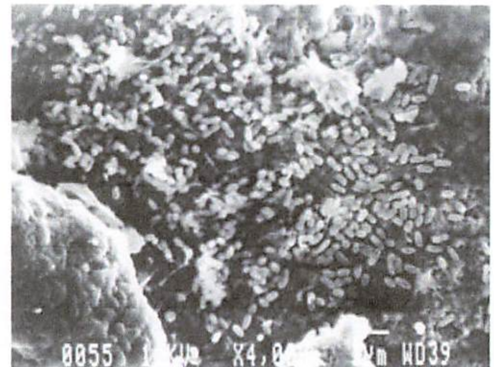
知ってますか？歯周病は感染症です！

　歯周病炎が認められた場合、ご家族の方にも検査を受けて頂くことを強くお奨め致します。

歯周病は、歯周病細菌による感染症です。
『えー感染症？』と、意外に思われる方も多いですが事実、歯周病細菌という細菌が存在し、この菌が口腔内に感染することで歯周病は始まります。
生まれて来た子供の口の中には、歯周病細菌はまったく存在しません。
ほとんどの場合、家族間から感染します。
例えば、若年性歯周病の原因菌とされている『アクチノマイセテムコミタンス菌』は、大人から大人へと感染することはなく、まだ永久歯が生えそろわない、１０歳程度の時期に大人から子供へ感染することが最近の研究により報告されています。子供の口腔内は外来から感染を起こしやすく、抗生物質を長期使用していた場合などは、口腔内の健康な細菌のグループがいったんなくなるため、 新たに細菌の環境がそろう前に感染する可能性があります。
私達は生活する上で 細菌感染から完全に逃げることはできません



成人型の歯周病菌の代表的な菌である『ジンジバリス菌』は、親子や夫婦から感染すると考えられています。これが、通常 大人で起る『歯周病（慢性歯周炎）』です。
それでは、『歯周病細菌に感染しなければ大丈夫では？』と思うかもしれませんが、私達は生活する上で細菌感染から完全に逃げることはできませんし、完全に排除する必要性もないと思います。歯周病治療のための細菌除去とは、全ての菌を除去するのではなく、骨を溶かしたりしている細菌のみを除去し、 後は　新たな菌の感染を防ぎ、細菌とうまく共存していくことです。
つまり外来から感染したとしても 歯周病が進行しないような 口腔内環境を保つことが大切なのです。
骨を溶かすような 歯周病菌が繁殖しやすい場所は 歯周ポケットが深い場所なのです。
（歯周病ポケットについては歯周病の検査の項を参考にして下さい）
歯周ポケットが深い場所は、細菌が生活するのに非常に適した場所なのです。 こうした場所をなくして、後はブラッシングにより新たにポケット内に感染しない環境を作ることが最も大切なのです。